

第3回 婦人科がんサポーターティブケア研究会

がん患者の人生の質の最良化のために

2025年11月30日 日

会場

広島県医師会会館＋ライブ配信
(ハイブリット開催)

学術
集会長

山口 建
広島大学大学院医系科学研究科産科婦人科学

参加費

5,000円

参加者へのご案内

第3回婦人科がんサポーターティブケア研究会の開催形態につきましては、広島県医師会会館（広島市）での現地開催およびWEB開催（ライブ配信）のハイブリッド開催といたします

1. 現地会場

広島県医師会会館

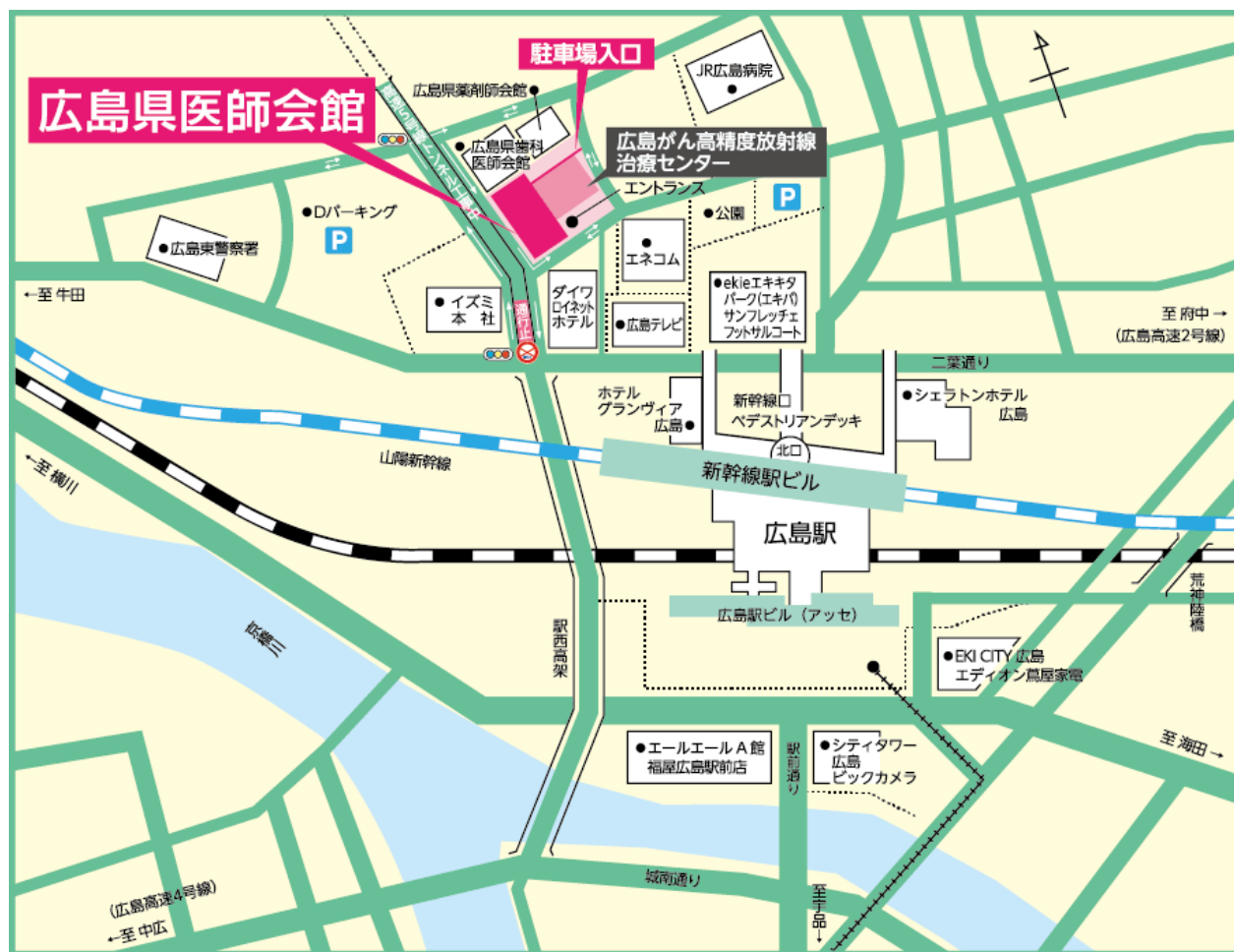
〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里3丁目2番3号

電話番号：082-568-1511

F A X：082-568-2112

JR 広島駅・新幹線口から徒歩約5分





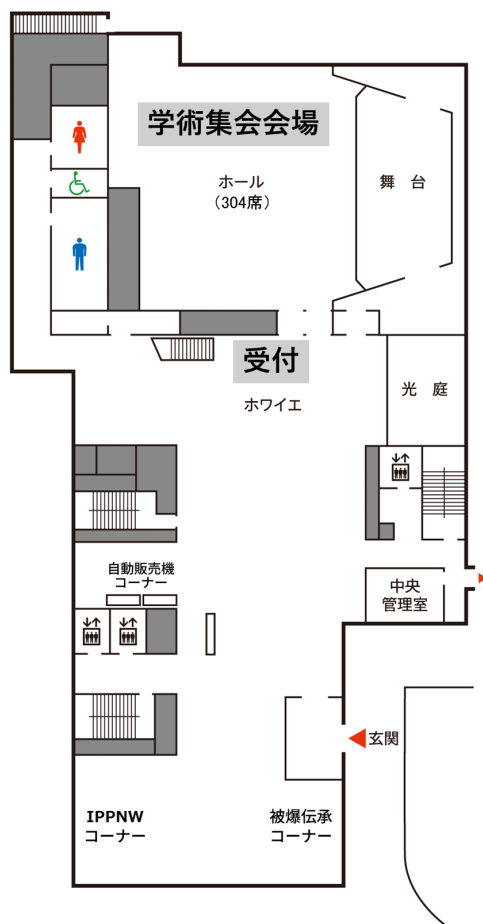
※ クールビズなど軽装でお越しください。

【受付】 1階 学術集会会場横（ホール横）

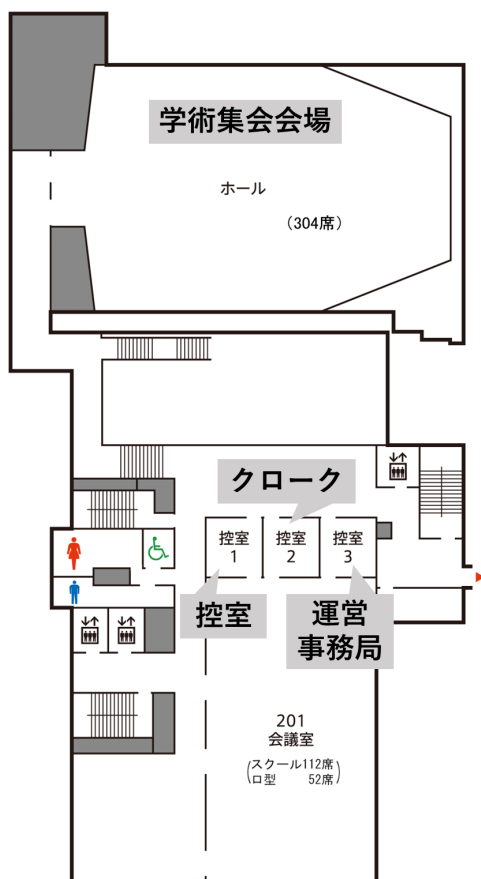
【受付時間】 9:00～

【会場案内図】

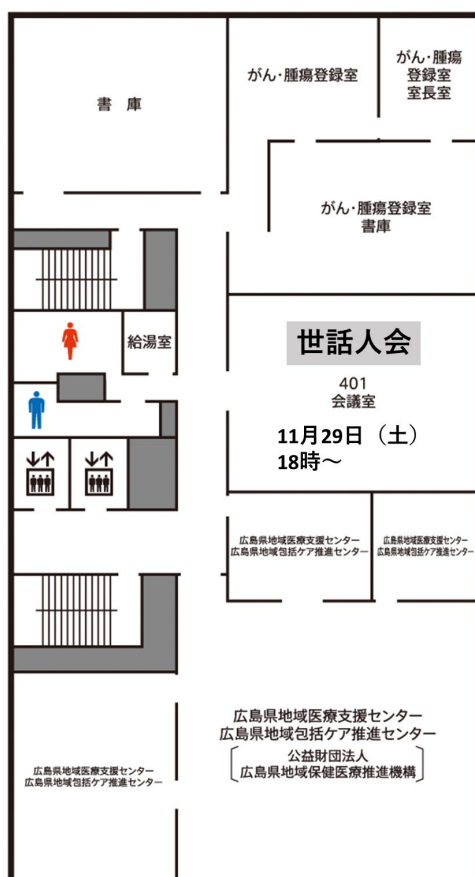
1 階



2 階



4 階



2. 一般演題登録

以下の URL および二次元コードより登録をお願いします。

一般演題登録の締め切りは 2025 年 9 月 30 日（火）です。

一般演題のご登録 URL :

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfFf2yBdU70wg-97lm18dTcq_ZAO_gXHibvqpNfMCcgh96VzQ/viewform

ご登録二次元コード



- 一般演題の発表時間は質疑応答込で 10～15 分程度です（演題数により最終調整いたします）。
- 事前にスライドを登録いただきます。11 月 14 日（金）までに事務局へメールで送付ください。

3. 参加費

会場参加、Web 参加いずれも 5,000 円。

【参加費振込先】

銀行名：三菱 UFJ 銀行 聖護院支店（445）

口座番号：（普）0221977

口座名：婦人科がんサポーターブケア研究会学術集会長 万代 昌紀

（フジнкаガンサポーターブケアケンキュウカイマンダイマサキ）※フリガナでは「ガクジュツシュウカイチョウ」は省略されます。

※ 参加費の振込後はいかなる理由があっても参加費の返却は致しませんのでご注意ください。

4. 参加登録

参加者は会場ご来場または WEB 参加のいずれかを必ずご登録下さい。

参加登録の締め切りは 2024 年 11 月 14 日（金）です。

【会場ご来場ご希望の方】

以下の URL および二次元コードより事前申し込みをお願いします。

現地参加のご登録 URL：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSetJeskLapwA4Lx30tQ0q8t0LQLw-CVRPDV7aqNMqYFR4IKvg/viewform>

ご登録二次元コード



- 会場でも参加費は支払いができますが、原則事前に参加費の振込をお願い致します。
- 参加費お振込みが確認されましたら、参加登録完了のメールを送付致します。参加登録完了メールは、学会参加の際に必要なになります。
- 学術集会までに WEB 参加用の URL をメールでお知らせいたします。
- 参加登録完了メールが届かない場合は運営事務局までご連絡ください。
- メールが送付されない場合はご登録のメールアドレスに間違いがある可能性がございますのでご入力の際は間違いのない様ご注意ください。

【WEB 参加ご希望の方】

ZOOM ミーティングを使用致します。

以下の URL および二次元コードのいずれかにて必要事項をご入力の上、事前申し込みにてご参加ください。

WEB 参加のご登録 URL :

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfhRJ4mQC-Kj_HzBTpHB71kt_wiK3a2Yj3X3G-GcQq8pxyDtQ/viewform

ご登録二次元コード



- ご登録と参加費の振込確認後に視聴用の URL をメールで送付します。届かない場合は運営事務局までご連絡ください。
- メールが送付されない場合はご登録のメールアドレスに間違いがある可能性がございますのでご入力の際は間違いのない様ご注意ください。

【注意事項】

- 当日はネット環境の整った環境でのご視聴をお願い致します。
- ZOOM は最新版にアップデートして下さい。
- ログインのお名前やログインのお時間が講演会の時間帯に確認できない等の場合は各単位登録ができかねる可能性がございますので予めご了承下さい。

5. 単位認定について（予定）

【日本専門医機構学術集会参加】

日本専門医機構学術集会参加単位（2 単位）が取得できます。

- 会場参加の場合は、JSOG カードや JSOG アプリなど、会員番号の QR コードをご持参下さい。
- WEB 参加の場合は、視聴期間内にログインのうえ視聴した場合に、通常の学会参加と同様に、日本専門医機構学術集会参加単位（2 単位）が取得できます

※ 単位取得には、参加登録時に日本産科婦人科学会の会員番号入力が必要となりますのでご注意ください。

【日本産婦人科医会研修参加】

日本産婦人科医会会員証 QR コードをご持参ください。

【日本専門医機構 単位付与講習について】

時間	セッション	単位
現地開催＆ライブ配信 9:40～10:40	モーニングセミナー	産婦人科領域講習
現地開催＆ライブ配信 12:25～13:25	ランチョンセミナー	産婦人科領域講習
現地開催＆ライブ配信 15:30～16:30	特別講演	産婦人科領域講習

6. 懇親会について

学術集会の前日に懇親会を行います。参加費 10,000 円程度の予定です。参加登録の際に、懇親会に参加するか登録ください。

- 直前にキャンセルされる場合は、会費をいただく可能性があります。ご了承ください。
- 参加費は当時会場でいただきます。現金でご用意ください（キャッシュレス決済は利用できません）。

7. 託児所について

託児所はございません。

8. 撮影について

撮影・収録は研究会事務局が認めた場合以外、禁止とさせていただきます。

9. 研究会に関するお問い合わせ

運営事務局（各種お申込み、お問合せ先）

京都大学大学院医学研究科医学部 婦人科学産科学教室

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

TEL : 075-751-3269

事務局担当 山口 建 (soulken@hiroshima-u.ac.jp)

井添 久弥穂 (izoeku@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

プログラム

婦人科がんサポーターケア研究会、広島産婦人科学会 共催
婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）後援

9:20～9:30 【開会の辞】

広島大学大学院医系科学研究科 産科婦人科学 教授 山口 建 先生

9:30～10:30 【モーニングセミナー】

座長：聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 主任教授 鈴木 直 先生

「もっとうまくいく緩和ケア –緩和ケアのカー–」

演者：地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 緩和ケア科 部長
余宮 きのみ 先生

共催：婦人科がんサポーターケア研究会

広島産科婦人科学会

第一三共株式会社

後援：婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）

10:30～10:35 【休憩】

10:35～11:30 【一般演題Ⅰ】 （1 演題：6 分発表・3 分質疑応答）

座長：北海道大学大学院医学研究院 産婦人科学教室 教授 渡利 英道 先生

帝京大学医学部 産婦人科学講座 教授 長阪 一憲 先生

I-1. 「パクリタキセルによる化学療法誘発性末梢神経障害との鑑別に難渋した
Guillain-Barré 症候群の 1 例」

倉敷中央病院 産婦人科

山中 智裕、堀川 直城、福原 健

I-2. 「子宮体癌頸椎転移に対し外科的治療によりライフゴールを達成し得た一例」

広島大学病院 産科婦人科

大原 涼、中本 康介、宇山 拓澄、山根 尚史、榎園 優香、佐藤 優季、的場 優介、寺岡 有子、大森 由里子、友野 勝幸、向井 百合香、阪埜 浩司、山口 建

I-3. 「進行卵巣癌における腸管閉塞に起因した嘔気に対し、オクトレオチドが奏功した一例」

NHO 呉医療センター 産科婦人科

張本 姿、中村 紘子、山田 紗弥花、西本 祐美、菅 裕美子、綱掛 恵、佐川 麻衣子、熊谷 正俊

I-4. 「当院の新規がん薬物療法導入時の多職種連携について」

広島市立広島市民病院 産科婦人科

坂井 裕樹、濱田 真彰、伊藤 佑奈、川口 優里香、田中 奈緒子、築澤 良亮、横畑 理美、森川 恵司、植田 麻衣子、谷 和祐、関野 和、依光 正枝、上野 尚子、鎌田 泰彦

I-5. 「北海道のがん診療連携拠点病院におけるリンパ浮腫診療—多職種連携・地域連携の取り組み」

1) 北海道大学病院 婦人科

2) 手稲溪仁会病院 産婦人科

小林 範子¹⁾、藤野 敬史²⁾、和田 真一郎²⁾、渡利 英道¹⁾

I-6. 「婦人科がん治療後の医原性閉経に対する支援体制構築 —がんハイボリュームセンターでのオンコヘルスケアの取り組み—」

公益財団法人がん研究会有明病院 婦人科

伏木 淳、尾身 牧子、杉山 裕子、山口 翔吾、倉富 由理、今 翼、船田 瑛太郎、渡部 俊陽、鎌田 麻由美、阿部 彰子、温泉川 真由、野村 秀高、金尾 祐之

11:30~11:35 【休憩】

11:35~12:30 【一般演題Ⅱ】 (1 演題：6分発表・3分質疑応答)

座長：名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学 教授 梶山 広明 先生
久留米大学医学部 産科婦人科学教室 教授 津田 尚武 先生

Ⅱ-1. 「パクリタキセルを投与した子宮体癌患者における末梢神経障害の発症リスク因子解析」

鳥取大学 産科婦人科

曳野 耕平、小松 宏彰、平塚 由貴、山本 康嗣、大川 雅世、澤田 真由美、佐藤 慎也

Ⅱ-2. 「臨床背景別にみた婦人科がん化学療法中の Grade 2 以上の発生率が高い症状」

京都大学医学研究科 婦人科学産科学

東山 希実、梅宮 槇樹、稲山 嘉英、小池 彩美、宮本 泰斗、水野 林、滝 真奈、山ノ井 康二、村上 隆介、万代 昌紀

Ⅱ-3. 「婦人科がんにおける Oncologic emergency の特徴と治療方針への影響」

杏林大学医学部 産科婦人科学教室

浅野 史男、百村 麻衣、澁谷 裕美、松本 浩範、森定 徹、小林 陽一

Ⅱ-4. 「子宮体癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療におけるサルコペニアと骨格筋量変化の予後への影響」

名古屋大学医学部附属病院 産婦人科

片山 高明、芳川 修久、服部 諭美、茂木 一将、吉田 康将、吉原 雅人、長尾 有佳里、玉内 学志、横井 暁、新美 薫、梶山 広明

Ⅱ-5. 「子宮頸がん化学放射線療法中における筋肉量減少に影響を与える因子の検討」

久留米大学 産婦人科

田崎 和人、清家 崇史、山川 理子、田崎 慎吾、吉満 輝行、勝田 隆博、西尾 真、津田 尚武

Ⅱ-6. 「選択的エストロゲン受容体モジュレーターによる放射線治療後の骨盤骨折予防」

岡山大学病院 産科婦人科

白河 伸介、長尾 昌二、今谷 稜子、谷岡 桃子、杉原 花子、谷 佳紀、松岡 敬典、依田 尚之、原賀 順子、小川 千加子、中村 圭一郎、増山 寿

12:30~12:45 **【休憩】**

12:45～13:45 【ランチオンセミナー】

座長：福井大学医学部 産科婦人科 教授 吉田 好雄 先生

「**卵巣癌維持療法最適解を求めて～患者背景と分子学的特性を踏まえた治療選択～**」

演者：弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 教授

横山 良仁 先生

共催：婦人科がんサポーターブケア研究会

広島産科婦人科学会

武田薬品工業株式会社

後援：婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）

13:45～13:55 【休憩】

13:55～15:30 【ワークショップ】 （1 演題：10 分発表・3 分質疑応答）

「**高齢化社会における婦人科がん治療とサバイバーシップの新たな課題**」

座長：杏林大学医学部 産科婦人科学教室 教授 小林 陽一 先生

大阪大学大学院医学系研究科 産科学婦人科学教室 教授 小玉 美智子 先生

W-1. 「**子宮体癌合併糖尿病患者における TC 療法時のステロイドスパリング戦略と血糖コントロールへの影響**」

鳥取大学医学附属病院 産科婦人科

小松 宏彰、大川 雅世、佐藤 慎也、谷口 文紀

W-2. 「**高齢婦人科がん治療に関する高齢者機能評価の検討： 前向き観察研究 ～高齢者機能評価は高齢婦人科がん薬物療法の 完遂度の指標に有用である～**」

香川大学医学部 周産期学婦人科学 北海道がんセンター

鶴田 智彦、山田 竜太郎、黒須 博之、松宮 悦子、見延 進一郎、金西 賢治

W-3. 「超高齢化社会における卵巣癌治療の実態とその向き合い方：多施設後方視的コホート研究から見てきた婦人科がんサポーターシップケアの課題」

1) 愛知医科大学 産婦人科

2) 名古屋大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座

3) 岡崎市民病院 産婦人科

藤本 裕基^{1,2)}、鈴木 徹平³⁾、伊吉 祥平²⁾、吉原 雅人²⁾、宮本 絵美里²⁾、國島 温志²⁾、

茂木 一将²⁾、梶山 広明¹⁾

W-4. 「高齢婦人科がんにおける免疫チェックポイント阻害薬：年齢で制限すべきか」

福井大学医学部附属病院 産科婦人科

井上 大輔、折坂 誠、佐々木 博正、吉田 好雄

W-5. 「高齢子宮体がん患者に対するレンパチニブ/ペムブロリズマブ併用療法の現状」

公益財団法人がん研究会有明病院 婦人科

温泉川 真由、重川 浩一郎、竹原 洸平、加藤 慧、渡部 俊陽、小澤 梨沙子、菅野 素子、根津 幸穂、
金尾 祐之

W-6. 「健診施設におけるサバイバーのがん検診に関する現状と課題：健診専門医修練施設を対象としたアンケート調査」

1) 聖路加国際病院附属クリニック聖路加メディローカス

2) 聖路加国際病院附属クリニック予防医療センター

3) 神奈川県立がんセンター 臨床研究所 がん教育ユニット

4) 群馬大学大学院情報研究科

5) 高知大学理工学部

6) 聖路加国際病院 乳腺外科

中野 千枝^{1,2)}、佐藤 美紀子^{1,3)}、片山 佳代子^{3,4)}、阪口 昌彦^{3,5)}、藤井 さと子¹⁾、竹井 淳子⁶⁾、
宮下 弓¹⁾、熊倉 泰久²⁾、小笠原 智香²⁾

**W-7.「本邦における子宮頸癌サバイバーの Subsequent Primary Cancer (SPC) リスク :
3 地域がん登録を統合した大規模コホート解析」**

¹⁾ 聖路加国際病院附属クリニック 聖路加メディローカス 女性診療科

²⁾ 神奈川県立がんセンター 臨床研究所 がん教育ユニット

³⁾ 高知大学理工学部

⁴⁾ 宮城県立がんセンター研究所 がん疫学・予防研究部

⁵⁾ 大阪国際がんセンター がん対策センター

⁶⁾ 群馬大学大学院情報研究科

佐藤 美紀子 ^{1, 2)}、阪口 昌彦 ^{2, 3)}、金村 政輝 ⁴⁾、森島 敏隆 ⁵⁾、宮城 洋平 ^{2, 5)}、片山 佳代子 ^{2, 6)}

15:30~15:40 【休憩】

15:40~16:40 【特別講演】

座長：京都大学大学院医学研究科医学部 婦人科学産科学教室 教授 万代 昌紀 先生

「がんサバイバーシップ：患者とともに歩む医療をめざして」

演者：東京慈恵会医科大学 がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座 教授

内富 庸介 先生

共催：婦人科がんサポーターケア研究会

広島産科婦人科学会

エーザイ株式会社

後援：婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）

16:40~16:50 【閉会の辞】

福井大学医学部 産科婦人科 教授 吉田 好雄 先生

共催・協賛・寄付企業団体一覧

アストラゼネカ株式会社

エーザイ株式会社

科研製薬株式会社

ジェンマブ株式会社

第一三共株式会社

武田薬品工業株式会社

中外製薬株式会社

株式会社ツムラ

テルモ株式会社

西日本メディカルリンク

富士製薬工業株式会社

株式会社 DUSMCO

MSD 株式会社

広島大学医学部産科婦人科教室同門会

2025 年 11 月 18 日現在